



ひびきの

学力特集号

北九州市立ひびきの小学校

校長 太田 敦生

【学校教育目標】

思いやりの心もち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 29 年 4 月 18 日 (火) に、6 年生を対象とした「教科 (国語・算数) に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

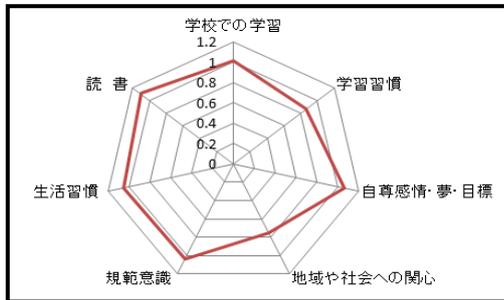
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせします。
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取り組みの参考にしていただきたいと思います。
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。
今回の結果を参考に、お子様の学力向上に向け、ご理解ご協力をお願いいたします。



1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析 (傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語 A (基礎)	・「書くこと」「読むこと」に関する正答率が高く、「話すこと・聞くこと」に関する結果は全国と同程度であった。	上回っている
国語 B (応用)	・4 区分の中で全国との差が最も小さかった (課題が大きい)。 ・「話す・聞く」と「書く」、「書く」と「読む」など、複合する力を求められる問題の正答率が高かった。	上回っている
算数 A (基礎)	・「数量や図形についての知識・理解」を問う問題に課題が見られた。	上回っている
算数 B (応用)	・4 区分の中で全国との差が最も大きかった (よくできていた)。 ・どの領域もまんべんなく理解できており、課題が少なかった。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○読書時間が多い。 ○自尊感情が高く、夢や目標をもっている。 ○規範意識や学校の学習、生活習慣は概ねよい傾向。 ○外国とのかかわりの数値が高く、関心が高い。 ▲家庭学習の時間が少ない。 ▲新設校のため、地域とのかかわりが少ない。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組



① 教科に関する取組

【学校での取組】

・国語も算数も、応用よりも基礎的な問題に課題が見られました。朝自習や「ひびきのタイム」における反復学習を充実させ、基礎的な学力が一層定着するようにします。

【家庭にお願いしたい取組】

・基礎的な内容の定着を図るため、宿題や自主学習としてドリルやプリントを持ち帰らせることがあります。お子様と一緒に内容を確認していただければ幸いです。

② 家庭生活習慣等に関する取組

【学校での取組】

・自尊心や規範意識など、よい面を一層伸ばす指導をします。また、外国とのかかわりへの関心や読書など、本校の特色といえる活動を、これからも充実させていきます。

【家庭にお願いしたい取組】

・全国と比べ、家庭学習の時間が少ないという結果でした。7 月 (第 4 号) の学校だよりでお伝えした家庭学習の目安時間を参考に、家庭学習の充実を図っていただきますようお願いいたします。
・地域行事の参加など、積極的に地域とかわる機会を奨励してください。